

平成16年度 秋期 プロジェクトマネージャ 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問1 〔出題趣旨〕

近年、情報システム開発時の機密管理が問題となって顧客情報、営業情報や人事情報などの機密情報の漏えいが起きている。このような状況の中で、プロジェクトマネージャは機密情報の漏えいを防止することが求められている。

本問は、情報システム開発プロジェクトにおいて定めた機密管理のルールと、ルールに従って運用するための日常管理について、工夫した点を中心に、具体的な論述、及び漏えい時の影響を少なくする対策の論述を求めている。

本問では、論述を通じて、プロジェクトマネージャに求められる機密管理に関する知識・経験、リスク管理能力、マネジメント能力などを評価する。

問2 〔出題趣旨〕

近年、開発期間の短縮、費用の低減などの目的で、オフショア開発が増えている。

本問は、情報システムのオフショア開発で発生する問題の調査と対策を主題としている。国内で開発する場合のプロジェクト管理に加えて、言語、文化、風習やビジネス慣習などの違いによるオフショア開発特有の問題を明らかにして、プロジェクトの納期や費用の目標を達成するために、海外のソフトウェア会社に委託する時に自ら行動し実施した調査や対策について具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、プロジェクトマネージャに求められるオフショア開発プロジェクトの目的達成のための組織要員管理の能力や経験などを評価する。

問3 〔出題趣旨〕

請負契約型の情報システム開発プロジェクトにおいて、発注元が期待どおりの品質の成果物を発注先から得るためには、作業途中での品質の確認が重要となる。

本問は、発注元のプロジェクトマネージャが請負契約作業の期間中に行う、品質の確認方法に焦点を当てている。すなわち、作業状況を直接管理できない請負契約において、契約に盛り込んだ適切な品質の確認方法について、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、プロジェクトマネージャに求められる請負契約に関する知識、調達管理・品質管理の能力や経験などを評価する。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。